

元高経大生 服役中病死訴訟

遺族が賠償請求 国は棄却求める

東京地裁で口頭弁論

(伊藤正晴裁判長)であり、
国は請求棄却を求めた。

妻の暁子さん(65)は「死
の真実を明らかにし、人権
侵害が日常化している獄中
医療を変革したい」と意見
陳述した。

訴状によると、星野元受
刑者は徳島刑務所(徳島市)
で服役中の2018年8月
に倒れ、19年3月に肝臓が
んの疑いがあると判明。4
月に東日本成人矯正医療セ
ンター(東京都昭島市)に
移送され、5月に手術を受
けたが死亡した。

1971年に東京・渋谷

の沖縄返還協定反対闘争で

警察官を殺害したとして殺

人などの罪で無期懲役が確

定し、服役中の昨年5月に

病死した元高崎経済大生、

星野文昭元受刑者(73)の時

(73)の遺族が、刑務所で

の治療に問題があったとし

て国に5500万円の損害

賠償を求めた訴訟の第1回

口頭弁論が22日、東京地裁